

2025(令和 7)年度 事業報告書

2025(令和 7)年 7 月 1 日 から 2026(令和 8)年 6 月 30 日 まで

特定非営利活動法人

ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン

1 事業の成果

新型コロナウイルスの影響がすっかり落ち着いたのもつかの間、イラン戦争勃発による世界経済の混乱は長らく続く円安傾向にも拍車をかけ、年度後半における当団体の活動にも少なからずの影響を及ぼした。GV(海外建築ボランティアプログラム)参加者数は 500 名という目標に対して、前年度並みの 379 名にとどまった。また、昨年度末で休止したプロジェクトホームワークス(国内居住支援活動)については、既存のケースのみの支援にとどまり、個人ボランティアの参加も大幅に減少する結果となったものの、前年度に引き続き、施設改善プログラムやユースプログラムに企業やキャンパスチャプターを始めとする多くのボランティアが参加した。これらの活動を通して、団体の理念や活動の意義に賛同するパートナーの輪を広げると共に、住まいに関する諸問題や市民社会の参画の重要性についても、広く社会に向けて一定の発信を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用 85,425 千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
災害及び戦禍による場合も含め、国内外の住まいを必要としている人々に対する家屋建築、環境整備等の援助事業	児童養護施設や母子生活支援施設等の福祉施設において、住環境の改善に向けた修繕活動等を実施した。	7/14, 8/30, 9/6, 9/11, 9/27, 9/30, 10/25, 11/15, 11/18, 11/22, 11/26, 11/29, 12/18, 1/18, 2/2, 3/27, 4/11, 4/19, 4/24, 4/25, 5/16, 5/22, 5/23, 5/30, 6/27	東京都板橋区、墨田区、町田市、神奈川県横浜市、茅ヶ崎市	延べ 403 人 (ボランティア 337 人、スタッフ 66 人)	東京都及び神奈川県内：延べ 3 世帯及び 6 施設	41,585
国内外の活動推進のための指導者育成事業	主に全国の大学生を対象に国際協力や貧困住居問題等について理解を深める機会・枠組みを提供した。	9/19, 9/20, 9/21, 11/16, 1/17, 6/13, 6/14 (及び通年)	東京 (及びオンライン)	23 人	約 619 人	3,357
国内外の貧困解消及び緊急援助のための人材派遣事業	主に全国の大学生・高校生等からなる建築ボランティアチームを派遣し、現地の建築専門家の指導の下、被支援世帯家族との共同作業で住宅の建築や修繕を行った。	通年	ベトナム、カンボジア、インド、インドネシア	ハビタット・ジャパンの学生支部メンバー等延べ 379 人	現地家族 31 世帯	30,750
国内外の貧困住居、ホームレス等の解消に関する広報等の普及・啓発事業	団体ホームページや SNS、ニュースレター、メールマガジン等の各種媒体を通して普及・啓発に努めた。	通年	国内	7 人	N/A	3,941

災害及び戦禍による場合も含め、国内外の住まいを必要としている人々に対する家屋建築、環境整備等の援助事業、国内外の活動推進のための指導者育成事業、国内外の貧困解消及び緊急援助のための人材派遣事業、国内外の低価格住居の技術開発・提供事業、国内外の貧困解消活動及びサービスラーニングに関する調査・研究事業、国内外の政府機関、国連機関及びNGOとの情報交換及びネットワーク構築事業、国内外の貧困住居、ホームレス等の解消に関する広報等の普及・啓発事業	上記各事業に係る共通活動（企画、準備、調整、記録・報告等の活動）	通年	国内外	7人	N/A	5,792
(2)その他の事業						
なし						